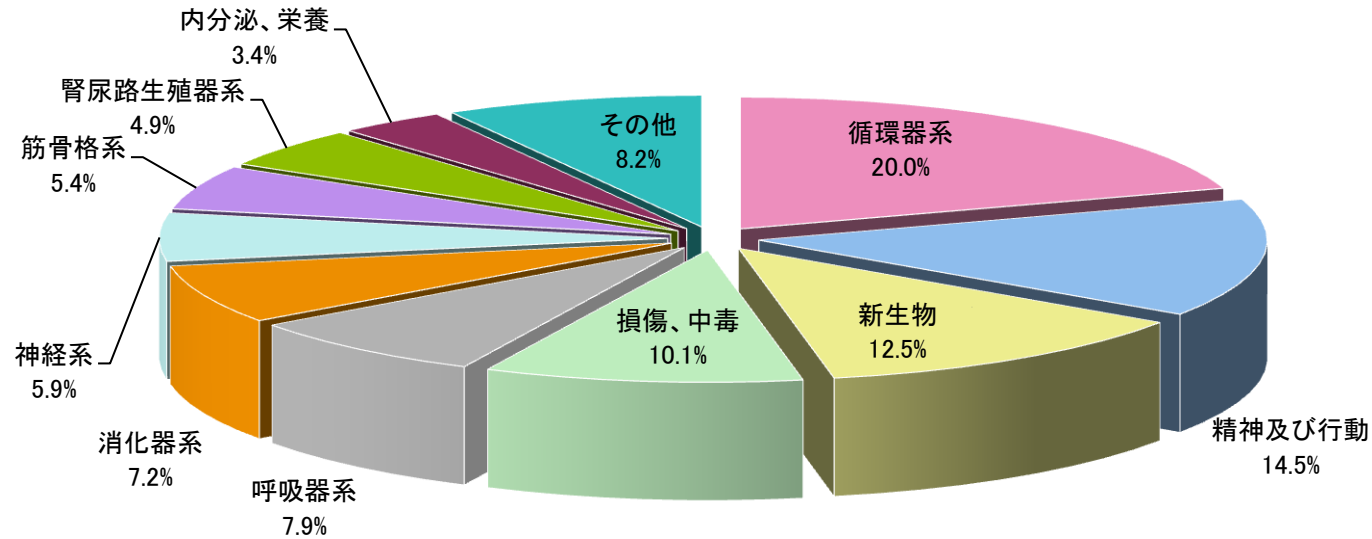


15 疾病大分類別上位10疾病(入院・件数)

件数の構成割合をみると、循環器系の疾患20.0%（対前年0.1ポイント増）、精神及び行動の障害14.5%（対前年0.7ポイント減）及び新生物12.5%（対前年0.3ポイント増）が上位を占めています。

平成28年5月診療分（国保+後期）

※国保には、国保組合も含む。



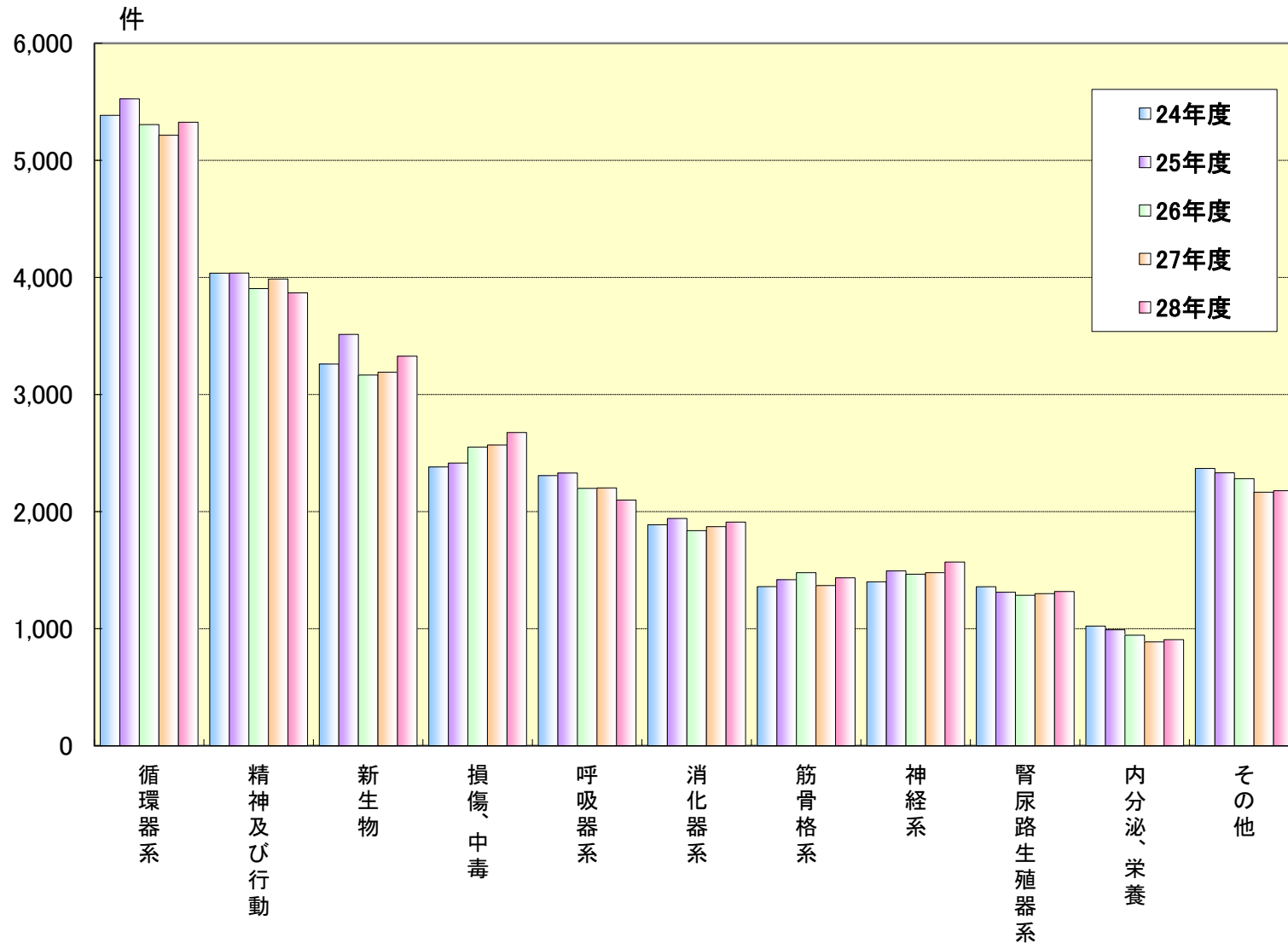
大分類	件数	大分類	件数
循環器系の疾患	5,325	神経系の疾患	1,569
精神及び行動の障害	3,868	筋骨格系及び結合組織の疾患	1,434
新生物	3,327	腎尿路生殖器系の疾患	1,317
損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,675	内分泌、栄養及び代謝疾患	906
呼吸器系の疾患	2,098	その他	2,178
消化器系の疾患	1,910	計	26,607

15 疾病大分類別上位10疾病(入院・件数)

平成28年5月診療分(国保+後期)

※国保には、国保組合も含む。

【推移】

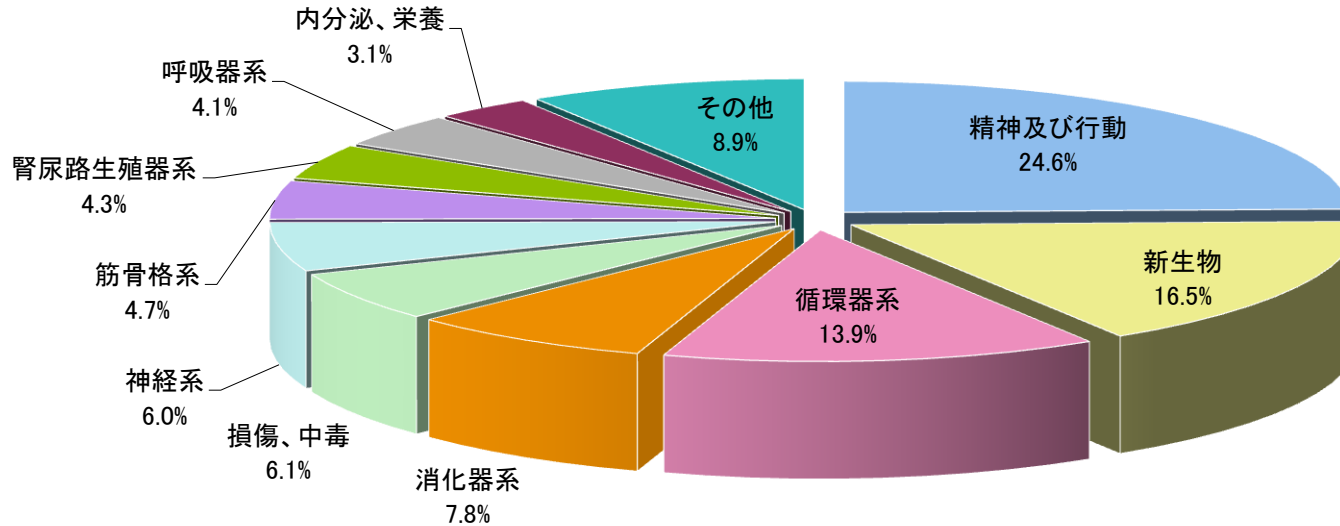


15 疾病大分類別上位10疾病(入院・件数)

件数の構成割合をみると、精神及び行動の障害24.6%（対前年0.5ポイント減）、新生物16.5%（対前年0.7ポイント増）及び循環器系の疾患13.9%（対前年0.3ポイント増）が上位を占めています。

平成28年5月診療分（国保）

※国保組合も含む。



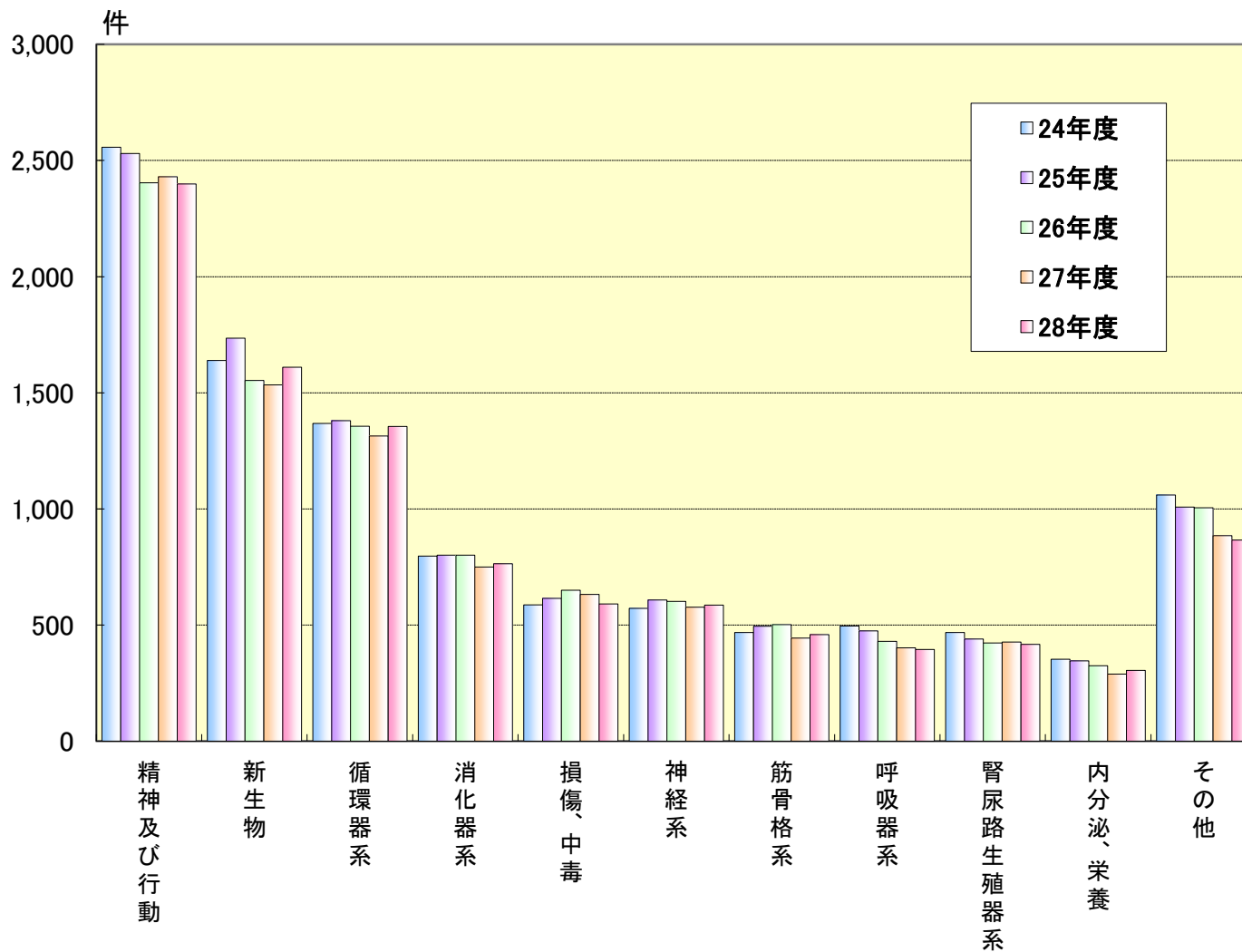
大分類	件数	大分類	件数
精神及び行動の障害	2,399	筋骨格系及び結合組織の疾患	459
新生物	1,610	腎尿路生殖器系の疾患	417
循環器系の疾患	1,355	呼吸器系の疾患	395
消化器系の疾患	764	内分泌、栄養及び代謝疾患	305
損傷、中毒及びその他の外因の影響	591	その他	866
神経系の疾患	586	計	9,747

15 疾病大分類別上位10疾病(入院・件数)

平成28年5月診療分(国保)

※国保組合も含む。

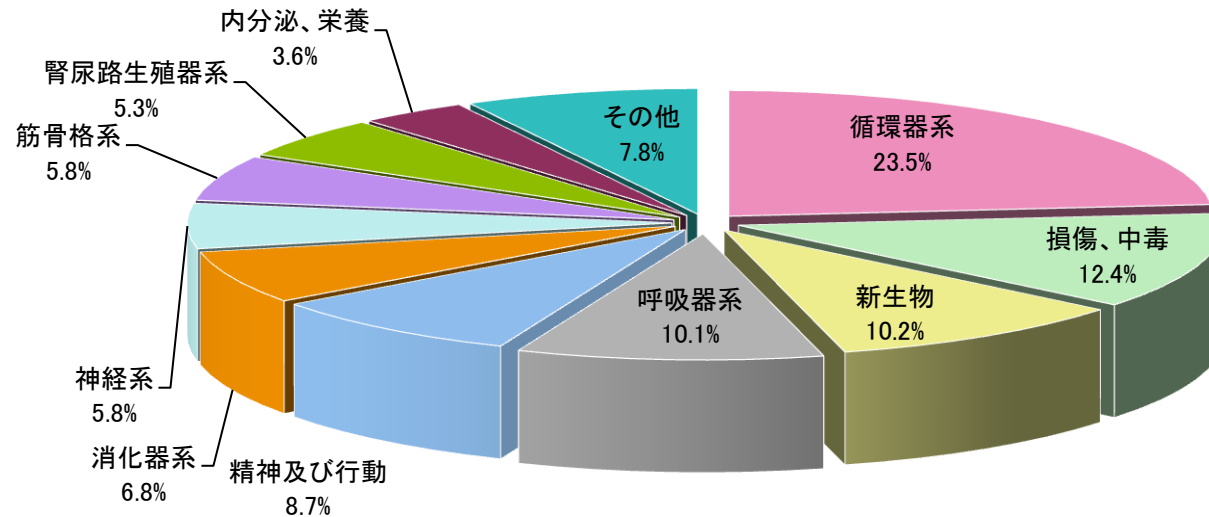
【推移】



15 疾病大分類別上位10疾病(入院・件数)

件数の構成割合をみると、循環器系の疾患23.5%（対前年0.1ポイント減）、損傷、中毒及びその他の外因の影響12.4%（対前年0.7ポイント増）及び新生物10.2%（対前年0.2ポイント増）が上位を占めています。

平成28年5月診療分（後期）



大分類	件数	大分類	件数
循環器系の疾患	3,970	神経系の疾患	983
損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,084	筋骨格系及び結合組織の疾患	975
新生物	1,717	泌尿生殖器系の疾患	900
呼吸器系の疾患	1,703	内分泌、栄養及び代謝疾患	601
精神及び行動の障害	1,469	その他	1,312
消化器系の疾患	1,146	計	16,860

15 疾病大分類別上位10疾病(入院・件数)

平成28年5月診療分(後期)

【推移】

